

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年8月21日(2008.8.21)

【公開番号】特開2007-24994(P2007-24994A)

【公開日】平成19年2月1日(2007.2.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-004

【出願番号】特願2005-203630(P2005-203630)

【国際特許分類】

G 0 9 G 3/30 (2006.01)

G 0 9 G 3/20 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

G 0 9 G 3/30 J

G 0 9 G 3/30 K

G 0 9 G 3/20 6 1 1 H

G 0 9 G 3/20 6 7 0 J

G 0 9 G 3/20 6 4 2 P

G 0 9 G 3/20 6 2 4 B

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月2日(2008.7.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

基板上に複数の電気発光素子が複数の行に並べられて表示面を形成している表示装置において、各前記行毎に順次表示信号を前記電気発光素子に与えるとともに、該表示信号を n 行の該電気発光素子の次に $(n + 1)$ 行の該電気発光素子に与えて画像を形成する走査方法であって、

前記 n 行の電気発光素子が、第 1 の表示信号が与えられて第 1 の画像の一部を表示するステップ A と、

前記ステップ A の後に、前記第 1 の表示信号の付与が停止されるステップ B と、

前記ステップ B の後に、第 2 の表示信号が与えられて前記 n 行の電気発光素子が第 2 の画像の一部を表示するステップ C とを含み、

前記各電気発光素子には光検出素子が近接して設けられており、

前記ステップ C では、 $(n + 1)$ 行の前記電気発光素子が消灯しており、かつ n 行の前記電気発光素子の発光の輝度を前記光検出素子によって検出する、走査方法。

【請求項 2】

前記ステップ C では、 $(n + 1)$ 行の前記電気発光素子に実質的に 0 V の電圧あるいは逆バイアス電圧を印加して消灯させることを特徴とする請求項 1 に記載の表示装置の走査方法。

【請求項 3】

前記ステップ C では、 n 行の電気発光素子の輝度を当該 n 行の電気発光素子に近接して設けられた前記光検出素子で検出することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の走査方法。

【請求項 4】

前記ステップ C では、 n 行の電気発光素子の輝度を $(n + 1)$ 行の電気発光素子に近接して設けられた前記光検出素子で検出することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の走査方法。

【請求項 5】

前記電気発光素子は、有機発光素子であることを特徴とする請求項 1 から 4 の何れか一つに記載の走査方法。

【請求項 6】

基板上に複数の電気発光素子が複数の行に並べられて表示面を形成し、前記行毎に順次表示信号を前記電気発光素子に与えると同時に、前記表示信号を n 行の前記電気発光素子の次に $(n + 1)$ 行の前記電気発光素子に与えて画像を形成する表示装置において、

前記複数の電気発光素子の各々に対応し、前記電気発光素子の発光輝度を検出する光検出素子と、

前記光検出素子が検出した輝度情報を信号として出力する出力回路と、

前記出力回路が出力した信号を記録する記憶部と、

前記記憶部に記録した信号に基づいてデータ信号の補正値を演算する演算回路と、

前記演算回路が出力した補正値に基づいて補正後のデータ信号を前記電気発光素子に出力するデータドライバと、

前記行の選択 / 非選択を制御する走査ドライバとを有し、

前記データドライバと前記走査ドライバの制御に基づいて、 n 行の前記電気発光素子が画像の一部を表示すると同時に、 $(n + 1)$ 行の前記電気発光素子が消灯している期間に、前記 n 行の電気発光素子の発光輝度を前記光検出素子によって検出する表示装置。

【請求項 7】

前記 n 行の電気発光素子の発光輝度を前記 $(n + 1)$ 行に配置した光検出素子によって検出する請求項 6 記載の表示装置。

【請求項 8】

前記 n 行の電気発光素子に対応する光検出素子を $(n - 1)$ 行の電気発光素子よりも $(n + 1)$ 行の電気発光素子に近接するように配置し、前記 n 行の電気発光素子の発光輝度を前記 n 行に配置した光検出素子によって検出する請求項 6 記載の表示装置。

【請求項 9】

前記光検出素子による輝度検出を複数フレームに 1 回の割合で行い、輝度検出を行わないフレームでは前記 $(n + 1)$ 行の電気発光素子の消灯を行わない請求項 6 記載の表示装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 発明の名称

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【発明の名称】 走査方法および表示装置